

### Ⅲ. 研究

#### 7. 邦文誌編集委員会

委員長 高 見 博

##### 邦文誌（日本外科学会雑誌）について

日本外科学会雑誌は、年間9巻（通常号6巻，臨時増刊号3巻）を発行している。

1巻あたりの制作部数は約38,000部であり，今年度は第112巻第2号を会員に配付した。

本誌の充実をめざして邦文誌編集委員会を4カ月に1度開催している。

##### 邦文誌の内容

###### 1. 会員より原稿を募る

症例報告，研究速報，総説，随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品（写真，絵，短歌，俳句など）

###### 2. 原稿依頼

- a. 特集（第98巻第8号より編集委員により企画）
- b. 会員のための企画（会員に役立つような内容を企画）  
毎号，「医療訴訟事例」を掲載している
- c. Editorial（編集委員が執筆）
- d. 手術の tips and pitfalls（図を中心とした手術の工夫やコツ）
- e. 卒後教育セミナーの講演要旨（第48回卒後教育セミナーより掲載）
- f. 特別寄稿（現在話題となっている内容を依頼）昨年（第111巻）はチーム医療や看護師の業務拡大に関する意識調査などの内容で計21篇を掲載した）
- g. 会員へのメッセージ（第112巻1号より本学会役員（各委員長）から一般会員へ委員会の現状を報告するための企画）

###### 3. 掲載料金

- a. 総説，症例報告5万円
- b. 研究速報3万円
- c. 随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品（写真，絵，短歌，俳句など）無料。枚数超過の場合は1万円
- d. 学会・研究会案内1/3頁2万円

###### 4. 依頼原稿執筆料

会員は5万円，非会員は10万円。（特集の前文や Editorial を執筆する編集委員は無料）

なお，本誌の Quality を向上させるため英文抄録の Revise (Check) を第99巻第1号より Ms. シンシア 氏に1編2,250円にて依頼している。

## 8. 英文誌編集委員会

委員長 前原 喜彦

### 英文誌 (Surgery Today) について

本誌は、年間12冊、電子ジャーナルを含めて約40,000部を発行している。平成22年度中に57ヶ国から1,166編の投稿原稿があった。同年発行の第40巻には217編が掲載され、平成22年度の採用率は18.6%であった。

昨年度より投稿から採否決定までの期間が平均2ヶ月へ、また掲載までの期間は平均11ヶ月となっている。掲載までの期間を短縮するため、掲載頁を従来の1.5倍とした。これにより掲載までの期間は6ヶ月と短縮できる予定である。

編集委員によるReview執筆などの努力によりImpact factorも徐々に上昇し、最新のものでは0.892との予想値となっている。

### 引用文献について

過去4年前からの被引用論文数を調査したところ、Vol. 37は74・Vol. 38は123・Vol. 39は293・Vol. 40は255となっている。

これらの結果から、更なるImpact factorの上昇を目指すには、Review・Originalの掲載数および被引用回数の増加が必須との見解から代議員に本年もReviewの執筆依頼をさせていただいた結果、昨年と合わせて95名から執筆いただけることとなっている。

代議員の先生方には、教室の先生方が投稿される際には、本誌を引用いただくよう是非お願いしたい。平成18年度研究助成委員会が廃止され、本委員会が研究奨励賞の授賞者選定を引き継ぎ行うこととなった。そして本年度授賞者を下記の如く決定させていただいた。

最後に投稿原稿数の増加とともに編集委員並びに代議員の負担も年々大きくなっており、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

### 第17回研究奨励賞授賞者 5名

佐伯 浩司 (九州大学大学院消化器・総合外科)

Impact of perioperative peripheral blood values on postoperative complications after esophageal surgery 40: 626—631

出口 順夫 (東京大学医学部附属病院血管外科)

Do inferior vena cava filters reduce the risk of acute pulmonary embolism in preoperative patients with venous thromboembolism? 40: 533—537

松谷 哲行 (防衛医科大学校第2外科)

Efficacy of peritoneal oxygenation using a novel artificial oxygen carrier (TRM-645) in a rat respiratory insufficiency model 40: 451—455

大野 敬祐 (札幌医科大学第一外科)

Inhibition of osteopontin reduces liver metastasis of human pancreatic cancer xenografts injected into the spleen in a mouse model 40: 347—356

大嶋 清宏 (群馬大学医学部附属病院集中治療部)

Extracorporeal membrane oxygenation for respiratory failure: Comparison of venovenous versus venoarterial bypass 40: 216—222

## 掲載原稿種別表

年次	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96
巻数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
投稿数	119	102	142	164	131	151	179	197	208	275	268	322	339	419
掲載数	95	89	83	76	87	119	116	119	120	107	206	222	211	212
採用率 (%)	79.8	87.3	58.5	46.3	66.4	78.8	64.8	60.4	57.7	38.9	76.9	68.9	62.2	50.5
Editorial	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Review	5	4	12	4	6	5	7	6	1	7	1	5	5	3
Original	75	77	50	44	47	71	59	67	67	59	107	106	101	82
Case Report	0	0	12	19	25	33	44	38	47	37	89	93	88	99
Short Communication	10	5	7	9	6	6	2	7	5	3	7	8	5	9
How to do it	3	3	1	0	3	4	1	1	0	1	2	10	12	7
Others	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	12
Impact Factor								0.21	0.223	0.188	0.163	0.118	0.171	0.209

年次	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
巻数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
投稿数	443	429	438	424	509	607	667	623	566	923	948	1099	1239	1166
掲載数	245	281	271	239	247	243	214	238	216	231	235	231	220	217
採用率 (%)	55.3	65.5	61.9	56.4	48.5	40.0	32.1	43.9	38.2	24.8	24.8	20.9	17.8	18.6
Editorial	7	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
Review	2	1	1	4	2	3	0	8	13	5	10	11	19	37
Original	120	102	100	97	86	88	76	102	102	102	75	85	74	76
Case Report	97	152	145	129	142	146	134	113	91	109	137	120	106	91
Short Communication	9	6	9	2	6	2	2	2	1	1	2	6	4	2
How to do it	10	11	14	7	11	4	2	13	8	10	10	5	15	7
Others	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	1	3	2	2
Impact Factor	0.233	0.303	0.379	0.356	0.480	0.501	0.528	0.553	0.478	0.698	0.679	0.804	1.050	0.892

### 投稿数内訳

Original	145	171	149	166	196	222	174	146	232	264	297	366	357
Others	284	267	275	343	411	445	449	420	671	683	807	873	809

# Surgery Today – ScholarOne Manuscripts 論文投稿・審査状況

(2010年1月1日から2011年2月28日)

## 1. 投稿状況

	2011	2010	2009	2008	2007
新規投稿数	213 編	1166 編	1230 編	1098 編	948 編
審査中の論文数	103 編	23 編	0 編	0 編	0 編
改訂依頼中	19 編	66 編	20 編	19 編	39 編
採択数 (採択率)	4 編 (4.3%)	200 編 (18.5%)	277 編 (22.8%)	266 編 (24.6%)	232 編 (25.5%)
却下数 (査読なし)	87 編 (76 編)	877 編 (641 編)	933 編 (631 編)	813 編 (599 編)	677 編 (442 編)
取下げ *	0 編	3 編	12 編	9 編	5 編

\* 新規投稿数には含まない

## 新規投稿論文の論文種類別内訳

2011	新規投稿論文数	採択数	却下数	採択率 (%)
Clinical Original	69	2	24	7.6
Case Report	113	1	52	1.8
Experimental	10	0	2	0
How to do it	6	0	3	0
Invited Review	0	0	0	0
Review Article	7	1	3	25
Short	4	0	1	0
Letter to the Editor	4	0	2	0
Other	0	0	0	0
Total	213	4	87	4.3

2010	新規投稿論文数	採択数	却下数	採択率 (%)
Clinical Original	300	50	219	18.5
Case Report	664	91	532	14.6
Experimental	57	13	41	24
How to do it	44	10	28	26.3
Invited Review	11	8	0	100
Review Article	59	25	30	45.4
Short	18	3	14	17.6
Letter to the Editor	12	0	12	0
Other	1	0	1	0
Total	1166	200	877	18.5

## 新規投稿論文の論文 Category 別内訳\*

Category	投稿数		採択数		却下数		採択率(%)	
	2011	2010	2011	2010	2011	2010	2011	2010
Adrenal gland	4	22	0	1	3	21	0	4.5
Anus	0	15	0	3	0	12	0	20
Bile ducts/Gall bladder	0	78	0	6	0	67	0	8.2
Breast	14	48	1	15	4	31	<b>20</b>	<b>32.6</b>
Cardiovascular	18	94	0	15	5	68	0	18
Colon/Rectum	<b>45</b>	<b>223</b>	0	<b>35</b>	<b>17</b>	<b>183</b>	0	16
Esophagus	8	66	0	23	1	31	0	<b>42.5</b>
Liver	22	139	<b>2</b>	31	7	96	<b>22.2</b>	24.4
Lung/Mediastinum	27	149	0	<b>38</b>	7	100	0	27.5
Pancreas	12	92	0	22	5	59	0	27.1
Pediatric surgery***	3	45	0	5	2	36	0	12.1
Plastic surgery	10	50	0	2	8	43	0	4.4
Portal hypertension	4	12	0	1	3	8	0	11.1
Stomach/Duodenum	22	165	1	20	7	136	12.5	12.8
Thyroid/Head and neck	18	60	0	6	12	49	0	10.9
Vascular	17	73	0	8	4	57	0	12.3
Others**	23	93	0	10	14	76	0	11.6

\* Category を複数選んでいる場合は各 Category に含めて集計

\*\*ジャーナル指定の 16 の Category 以外を Category として記入した投稿論文

\*\*\*2010 年 1 月 15 日以降に追加された Categorys

## 2. 投稿受付から Final Decision (Accept/Reject) までの平均査読日数

	論文数		投稿受付から Final Decision までの平均査読日数*	
	2011	2010	2011	2010
Accept	4	200	30.2 days	106.2 days
Reject (Immediate Reject を含む)	87	877	7.6 days	16.7 days
Reject (Immediate Reject を除く)	11	236	26.0 days	49.5 days

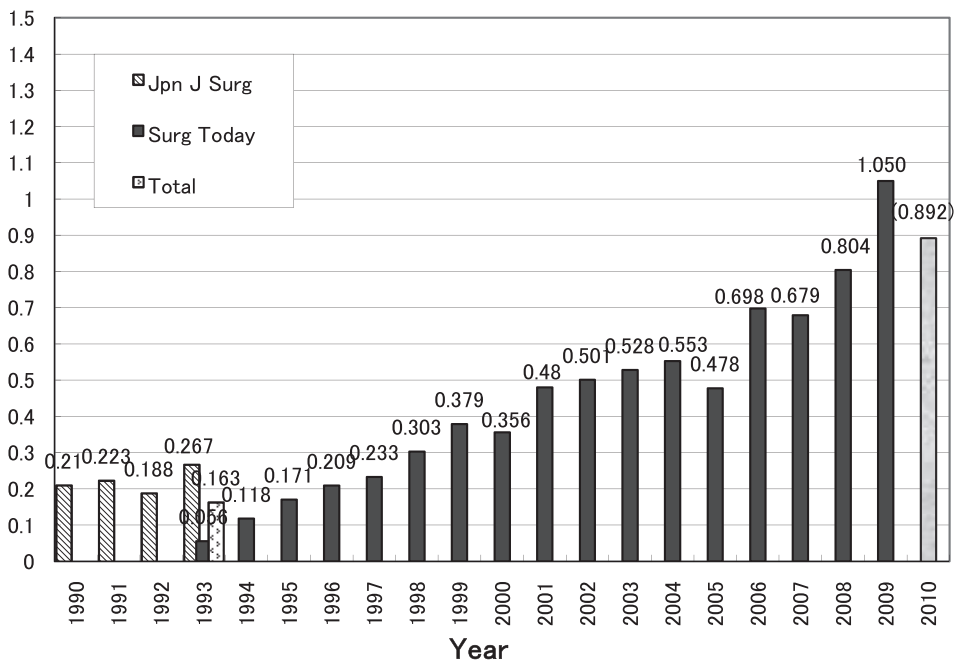
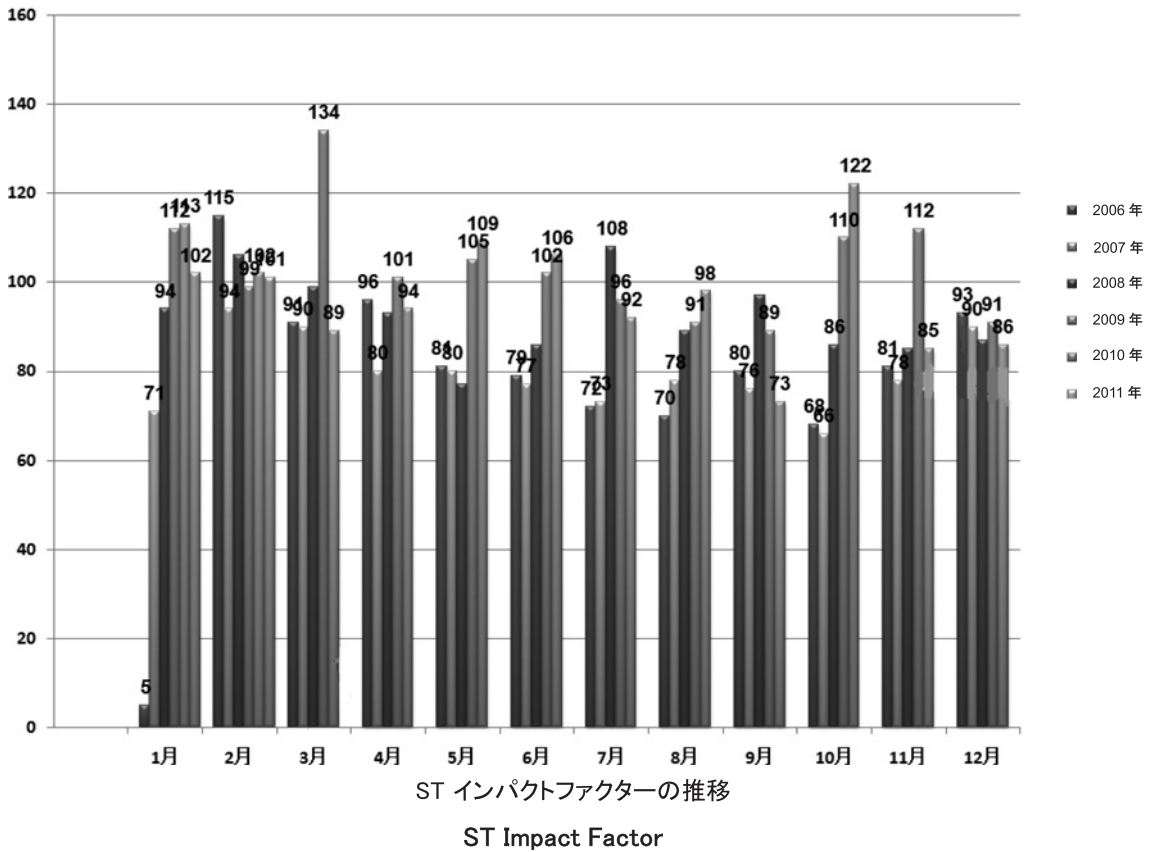
\* 途中リバイスがあった場合には著者のリバイス期間を除いた日数

### 3. 国別投稿数

Country	2010							2011						
	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率	集計	採択	却下	審査中	改訂中	採択率	集計	
Japan	168	213	14	54	1	44.1%	450	4	12	51	17	25.0%	84	
China	5	154	4	3	1	3.1%	167		11	10	2	0.0%	23	
Turkey	6	124		1		4.6%	131		12	13		0.0%	25	
Italy	3	46	1	1		6.1%	51		4	5		0.0%	9	
India	2	41		1		4.7%	44		5	3		0.0%	8	
Greece	3	38		1		7.3%	42		3	2		0.0%	5	
Taiwan		29	1	1	1	0.0%	32		10	2		0.0%	12	
Korea, Republic of	3	31	1	2		8.8%	37		3	3		0.0%	6	
United Kingdom		19				0.0%	19		7	3		0.0%	10	
Spain	1	22				4.3%	23		2			0.0%	2	
United States		16				0.0%	16		3	4		0.0%	7	
Germany	1	16	2			5.9%	19		2			0.0%	2	
Croatia		14				0.0%	14		3			0.0%	3	
Iran, Islamic Republic of		13				0.0%	13							
France	2	6		1		25.0%	9		2	1		0.0%	3	
Brazil	1	7				12.5%	8		3			0.0%	3	
Lebanon		10				0.0%	10							
Poland		8				0.0%	8		1			0.0%	1	
Serbia	1	3		1		25.0%	5							
Mexico		4				0.0%	4			1			1	
Singapore	1	2				33.3%	3		1			0.0%	1	
Saudi Arabia		3				0.0%	3		1			0.0%	1	
Canada	1	2				33.3%	3		1			0.0%	1	
Australia		4				0.0%	4							
Nepal		4				0.0%	4							
Netherlands		4				0.0%	4							
Jordan		4				0.0%	4							
Tunisia		3				0.0%	3							
South Africa		2				0.0%	2			1			1	
Czech Republic		3				0.0%	3							
Egypt		3				0.0%	3							
Switzerland		3				0.0%	3							
Israel	1	2				33.3%	3							

Country	2010						2011						
	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率	集計	採択	却下	審査中	改訂中	採択率	集計
Malaysia		1				0.00%	1			1			1
Chile		2				0.00%	2						
Slovakia		2				0.00%	2						
Oman		1				0.00%	1			1			1
Hong Kong		2				0.00%	2						
Hungary		2				0.00%	2						
Argentina		1				0.00%	1						
Nicaragua		1				0.00%	1						
Sweden										1			1
Bulgaria		1				0.00%	1						
Trinidad and Tobago		1				0.00%	1						
Moldova		1				0.00%	1						
Pakistan		1				0.00%	1						
Belgium		1				0.00%	1						
Albania									1			0.00%	1
Colombia		1				0.00%	1						
Thailand		1				0.00%	1						
Morocco		1				0.00%	1						
Denmark		1				0.00%	1						
Austria										1			1
Cyprus		1				0.00%	1						
Ireland		1				0.00%	1						
Sri Lanka		1				0.00%	1						
Korea, Democratic People's Republic of	1						1						
総計	200	877	23	66	3	18.60%	1169	4	87	103	19	4.40%	213

#### 4. 月別投稿数の推移





## 9. 臨床研究推進委員会

委員長 前原 喜彦

委員会を6月2日に開催し、臨床研究セミナーを計画するとともに、外科領域においてエビデンスに基づいた医療を実践すべく臨床研究を検討した。

本委員会が推奨した臨床研究が平成20年度～平成22年度厚生労働科学研究費補助金（研究課題「消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為比較試験」）に採用され、臨床研究が終了した。

本委員会が推奨した臨床研究が平成21年度厚生労働科学研究費補助金（研究課題「初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究」）に採用され、平成22年に引き続き、平成23年度も継続となる。

平成22年度厚生労働科学研究費補助金（研究課題「大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬：牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験（臨床第III相試験）」）に採用され、引き続き、平成23年度も継続となる。

平成23年度厚生労働科学研究費補助金（研究課題「大腸癌肝転移に対する肝切除術式の有効性に関する多施設共同無作為化群間比較試験」、研究課題「腹部手術における静脈血栓塞栓症の発症頻度とその予防に関するオープン無作為比較試験」、研究課題「ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法の確立」）に申請し、「ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法の確立」が採用された。

平成21年度通常総会の議決を経て、同日より施行した「外科臨床研究の利益相反に関する指針」の施行に伴う各種の具体的な運用状況について検討した。

なお、指針を基にした規則（定款施行細則）の新設案（指針：VII. 指針違反者への措置と説明責任1）指針違反者への措置に明記されている「別に定める規則」に該当）については、平成23年2月日本医学会より、医学研究のCOIマネジメントに関するガイドラインが策定されましたので、引き続き、具体的な運用状況や外科系学会との歩調等、長期的な視野に立って取り組むことにした。

臨床研究セミナーの重要性を鑑み、本セミナーの参加を外科専門医制度における研修実績（3単位）へ追加することが決定した。

下記の如く臨床研究セミナーを5月27日に開催予定である。

### 第9回臨床研究セミナー

日時：平成23年5月27日（金） 8:00～11:00

（第111回日本外科学会定期学術集会2日目）

場所：東京国際フォーラム 第10会場

#### 【プログラム】

開会の挨拶 前原 喜彦 九州大学消化器・総合外科  
（臨床研究推進委員会委員長）

#### 第1部 臨床研究の基礎講座

司会：竹内 正弘 北里大学薬学部臨床医学（臨床統計学・医薬開発学）  
赤澤 宏平 新潟大学医療情報部

1：臨床試験における統計的デザイン

手良向 聡 京都大学医学部附属病院 探索医療センター検証部

2：手術支援ロボットの開発

橋爪 誠 九州大学先端医療医学

## 第2部 外科臨床研究の実践

司会：國土 典宏 東京大学肝胆膵・人工臓器移植外科

吉田 和弘 岐阜大学腫瘍外科

1：わが国における臨床試験の現状

1) わが国における肺癌臨床試験の現状

光富 徹哉 愛知県がんセンター中央病院胸部外科

2) わが国における肝胆膵領域の臨床試験の現状

小菅 智男 国立がん研究センター中央病院肝胆膵外科

2：厚生労働科学研究費研究事業の報告

消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行  
群間無作為化比較試験

江見 泰徳 九州大学消化器・総合外科

## 第3部 外科における臨床研究の推進とエビデンスの発信

前原 喜彦 九州大学消化器・総合外科

(英文誌編集委員会委員長)

## 特別発言

北村惣一郎 国立循環器病センター

## 閉会の挨拶

國土 典宏 東京大学肝胆膵・人工臓器移植外科学

(臨床研究推進委員会副委員長)

## 1) 利益相反委員会

委員長 前原 喜彦

外科臨床研究の利益相反に関する指針にもとづき、臨床研究推進委員会のもとに前年度新設された委員会である。

本委員会は、指針に基づき、役員等から提出された利益相反自己申告書の管理、利益相反自己申告書に対して、疑義もしくは社会的・法的問題が生じた場合の対応等を目的としている。

委員会を6月2日に開催し、本委員会の目的の確認、提出された利益相反自己申告書を検討した。なお、役員等の利益相反自己申告書対象154名中138名から提出され、特に問題が生じるものはなかった。

なお、役員等の利益相反自己申告書は外科学会事務所に厳重に管理している。

## 10. 国際委員会

委員長 名 川 弘 一

### 1. 国際委員会情報について

本会と密接な関連がある国際学会ならびに主要国の外科系学会の最新情報を逐次整理して、日外会誌上に随時掲載している。

### 2. 外国人名誉会員について

外国人名誉会員の推薦について、第1号議案で報告のあった Hans Detlev Saeger 教授を推薦した。

### 3. ドイツ外科学会との若手外科医の学術交流制度について

本会とドイツ外科学会とでそれぞれの学術集會に日本側、ドイツ側から推薦のあった若手外科医を1名ずつ招聘し、学術発表の機会を与える交流である。昨年開催された第127回ドイツ外科学会には澤木 正孝 正会員（名古屋大学がんプロフェッショナル養成プラン特任講師）が参加予定であったが、アイスランドの火山噴火で、欧州北部を覆った火山灰による空港の封鎖により、参加することが出来なかった。そのため、本年の第128回は、澤木 正孝 正会員と杉町 圭史 正会員（九州大学消化器・総合外科特任講師）の2名が参加される。ドイツ側から第111回には、Daniel Palmes 先生（University of Muenster）が参加される。

### 4. American College of Surgeons (ACS) との若手外科医の学術交流制度について

本会ならびに ACS Japan Chapter と ACS とでそれぞれの総會に日本側、ACS 側から推薦のあった若手外科医を1名ずつ招聘し、学術発表の機会を与える交流である。昨年開催された第96回 ACS には曾山明彦 正会員（長崎大学移植・消化器外科）が参加し、本年の第97回は、山田 豪 正会員（名古屋大学消化器外科）が参加される。ACS 側から第111回には、Matthew M. Hanasono 先生（University of Texas MD Anderson Cancer Center）が参加される。

### 5. Society of University Surgeons (SUS) との交流について

従来から交流を行ってきた SUS については、国際委員会が交流の窓口となっている。今年2月に開催された Academic Surgical Congress では、本会から21演題が受け入れられた。

### 6. デベロピングカントリーの外科医との交流（トラベルグラント）について

第93回総會より実施されたこの制度は、第94回総會の際から本会の正式事業として、30名分の旅費を補助している。本年度も、選考に際しては会頭のサポートとしての役割に徹した。

選考時に考慮すべき要件（覚書き）

- 1) 地域性
- 2) 研究発表の分野
- 3) 複数回の応募（当選している場合と、応募するも落選している場合が考えられ、前者は選考から外し、後者については選考の対象とし、できれば選出の方向で検討する）

### 7. International Federation of Surgical Colleges について

I. F. S. C に関しては、昭和55年度より再加入し交流を開始しているが、今村正之名誉会員が対処している。その事業としては各国外科学会の情報の収集、分析、WHO の諮問に対する提案、発展途上国外科学会に対する助言と外科医の短期間派遣などの援助を行っている。

### 8. 研修証明書（Certification）発行について

平成4年度より、本会の認定施設において研修を行った海外からの留学医師に対して標記を授与してい

る。規定は下記の通りである。

海外からの留学医師に対する研修証明書（Certification）規定

- 1) 本証明書は、海外からの留学医師が、外科学会の指定する指定・関連施設において一定期間の研修を終了したことを証明するものである。
- 2) 外科学会国際委員会は当該施設より提出された一定書類に従い本証明書の発行を行う。
- 3) 研修期間は6カ月以上とする。
- 4) 本証明書には、外科指導責任者の署名および外科学会理事長の署名を必要とする。
- 5) 本証明書発行に必要な費用（5,000円）は被証明者負担とする。